

科目名	欧米文化論 Western Culture	科目コード	A0150
-----	--------------------------	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	土田 泰子（一般教育科）
区分・単位数	選択・2単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義24時間，その他：発表6時間】
教科書	授業時に資料を配付
補助教材	
参考書	辞書等

【A. 科目の概要と関連性】

欧米の文学作品は、単に英語で書かれているというだけでなく、作品を通して文化や社会など多くの要素を含んでいる。この科目では欧米の文学作品を題材として、著者と作品の関係性や文化的背景について学ぶことで知識を深め、批評的に分析する視点を獲得する。

○関連する科目： 総合英語（前期履修）、実用英語（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①アメリカ文学について、作品と文化的背景を批評的に分析する	35%	(B1)・(B3)
②イギリス文学について、作品と文化的背景を批評的に分析する	35%	(B1)・(B3)
③欧米文化に関して分析・考察したことについて発表する	30%	(B1)・(B3)

【C. 履修上の注意】

特になし。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（70%：レポート（1）30%、レポート（2）30%、レポート（3）10%）
- その他（授業時の発表、発言 30%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	課題
1	アメリカ文学（1）	第2回の文献講読
2	アメリカ文学（2）	第3回の文献講読
3	アメリカ文学（3）	第4回の文献講読
4	アメリカ文学（4）	第5回の文献講読
5	アメリカ文学（5）	レポート（1） （アメリカ文学）
6	アメリカ文学の作家と作品、社会について	発表準備
7	発表（1）	第8回の文献講読
8	イギリス文学（1）	第9回の文献講読
9	イギリス文学（2）	第10回の文献講読
10	イギリス文学（3）	第11回の文献講読
11	イギリス文学（4）	第12回の文献講読
12	イギリス文学（5）	レポート（2） （イギリス文学）
13	イギリス文学の作家と作品、社会について	発表準備
14	発表（2）	発表準備
15	発表（3）	レポート（3） （欧米文化）